

廃棄物の現状と課題は



質問者
渋谷 昇 議員

廃棄物の処理は、家庭から出される一般廃棄物、工場など事業所が出す産業廃棄物とあるが、それぞれがともに多くの規制がなされ、リサイクル等の推進も広く浸透されてきていると思われませんが、町の現状について伺います。

- ① 一般廃棄物である家庭ゴミと商店などから出る事業系ゴミの排出量に変化はあるのか
- ② 町民への補助対象である生ゴミ処理機「コンポスト」の利用状況は
- ③ 袋の違いや、指定日以外のゴミ等で残される未回収ゴミの対策は、ゴミ箱がなく、ゴミ袋がむき出しの集積場の
- ④ 高齢者や身障者でゴミを出せない方々が増えることが見込まれるが、対策は
- ⑤ 不法投棄ゴミの現状は

A ゴミ減量に取組みます
回答 (町長)



足柄東部清掃組合

この5年間で生活ゴミ、事業系ゴミは10%程減少している。リサイクルが浸透していると思われる。

平成3年より貸付を行っているが、513基

- ③ 未回収ゴミは、シール等で警告をしている。また、ゴミ箱等がなく、ネットで対応している所については、用地確保を地域にお願いしている。
- ④ 地域の民生委員が見守り活動の一環として、お手伝いをいただいている。
- ⑤ 不法投棄について、昨年度は7t程回収している。監視カメラやクッションドラム等を設置している。今後、県や近隣市町と連携し、投棄できない環境を作っていきたい。

自立する松田町の施策を伺います



質問者
山岸 一治 議員

- ① 自立する町として、今、松田町に不可欠なのは、公共料金の見直しであると考えますが、どのようにお考えですか
- ② 観光、商業、農業の活性化策は
- (1) 市街地の活性化策は
- (2) 周辺地域の活性化策は

A 次年度も財政逼迫であるが
回答 (町長)

政府は、日本経済がデフレ傾向にあると発表しましたが、松田町の税収はどうでしょうか。町長は日頃より、松田町は企業城下町では無いので不況に強いと言われていますが、予算の確保はできそうですか。このような時にこそ、行政と町民とが一体となって行動することが必要だと思います。

福祉関係では、「松田町ふれあい計画」の基に町民と行政が一体となった活動が進められています。小規模町ならではの活動ができると思います。

税収の根幹である地域活性化に向けた施策がありますか。

22年度の歳出については、政権交代による不確

実なところもあるが、福祉関係の扶助費の増加、義務的経費や特別会計への繰出し金の増加、小田急新松田駅南口駅前開発等が見込まれる。財政的に自立するため、新たな財源確保と、歳出の削減に努める。

① 公共料金については、補助金と共に、審査会や審議会に諮り、答申を受ける中で検討する。

② 市街地の活性化策としては、桜祭りに向け、20万枚のチラシを用意している。

この中に町中の地図と商店の紹介を載せる予定。小田急小田原駅、秦野駅等近隣主要駅に置く。寄地域の活性化策については、第5次総合計画策定の中で、多くの方と議論をし、将来の寄のあるべき姿を盛り込んでいく。